

リハ★エール 31

2023年8月

令和5年度京都市地域リハビリテーション推進研修

京都市高次脳機能障害者支援センター共催

脳障害を理解するっ!!

高次脳機能障害・発達障害・認知症 *Season 2*

11月8日(水)

13:30~15:30

講師：丹治 和世 氏

小石川東京病院 精神科 副院長 精神科医

講師：上田 敬太 氏

京都光華女子大学 健康科学部 医療福祉学科

言語聴覚専攻 教授 精神科医

脳の機能不全の臨床に長年携わっておられるお二人の医師から、高次脳機能障害、発達障害、認知症それぞれの障害や症例について分かりやすくレクチャーしていただくとともに、事例をもとにして、対談形式で現場に即した対応方法なども深めていただきます。

高次脳機能障害・発達障害・認知症の診断、治療、リハビリ、療育、生活訓練、就労、地域生活などの支援に関わる皆様、ぜひご参加ください。

会 場：京都市地域リハビリテーション推進センター1 階研修室(会場)と
Zoom(オンライン)同時開催

受講料：無 料

★ 申込受付は、9月1日から開始します。

詳細は、ホームページをご覧ください。

京都市地域リハ推進研修



ホームページ



申込フォーム

(9月1日から申込受付開始)



障害者支援施設



施設の取組をご存じですか？

当施設では高次脳機能障害のある方を対象に訓練を行い、日常生活の自立や就労等の社会参加につなげていけるよう支援を行っています。

今回は、“作業”に着目して当施設で提供している訓練プログラムについてご紹介します。



作品を作るといった、創作活動を行うプログラムが“作業活動”です。

参加する利用者さんは、黙々と集中して作業に取り組んでいます。中には、隣の人の作品をのぞき込んだり、合間に楽しく話をしながら作業をしている方もいます。



作業活動では、どんなことに取り組んでいるの？



【ビーズ工作】



【籐細工】



【仕分け作業】

大きく分けて、次の3種類あります。

- ◎ 創作活動（ビーズやタイル絵画、毛糸や糸手芸、籐、革細工などの手工芸）
- ◎ 認知系活動（パズル、仕分け作業など）
- ◎ 上肢機能系活動（手指を細かく動かす練習、おもりあげなどの筋力強化練習など）

各利用者さんの課題に沿って、作業療法士が創作作業を中心に作業種目をいくつか考え、その中から、利用者さん自身が好きな活動や挑戦してみたいものを選んで取り組みます。

訓練時間の40分間には、自分で必要な道具を取り出したり、2つの課題をこなせるように時間配分を考えたり、前回の続きから取り組めるようにメモを残したりと、できる事については、なるべく自分で管理しながら取り組みます。

職員さんは何に注目しているの？どんな目的で行っているの？



- ◎ 利用者さんの作業能力や動作能力の評価をしています。
どんな作業だったら得意そう？どんな工夫が必要そう？困った時に助けを呼べる？
作業をする時には文字の説明書きだけで大丈夫？写真付き手順書が必要？など。
- ◎ 達成感を味わえるように工夫しています。
ただ訓練するだけでなく、利用者さんの「できた！」という自信や、「嬉しい！作って良かった！」という気持ちを持ってもらえるよう取り組んでいます。
「また頑張って作りたい！」という積極的な言葉も聞かれます。
- ◎ 高次脳機能障害の課題に働きかけ、機能の改善を図っています。
課題選びや作業中の声掛け方法を工夫しながらアプローチをしています。
記憶障害の方には代償手段のメモを使う練習を設定したり、注意障害で疲れやすい方には時間管理や休憩の取り方の工夫について助言し、情報処理の苦手な方には図面や手順書を見て照合し、自分で考える場面を設定しています。
作品作りを通して楽しく訓練を行ってもらっています。



作ったものはどうするの？



- ◎ 作ったものは、それぞれで持ち帰っていただきます。
人によっては、家族や友人にプレゼントしたいと希望される方もいらっしゃいます。
プレゼントにする時は、“ラッピング”も作業活動として取り組みます。

施設での作業活動が、地域ではどんなふうに使われるの？



- ◎ 自宅や通う他の事業所でも続けられるような、得意な作業・好きな作業を見つける。
地域の事業所には、就労継続 A 型・B 型、就労移行、生活介護、デイサービスなどさまざまな事業所があります。このプログラムでは主に、就労継続 B 型事業所に通った場合…を想定しながら、利用者さんに種々の作業に取り組んでいただいています。



当施設では、集団でのプログラムや生活場面を通して、
職員一丸となって支援しています!!
利用をご希望の方は、是非お問い合わせください。



～ 京都市地域リハビリテーション推進センター 障害者支援施設 概要 ～

利用対象者：18 歳以上で高次脳機能障害を有する方
利用定員：入所又は通所での自立訓練（機能訓練 25 名、生活訓練 15 名。うち施設入所支援 30 名。短期入所も行っています。）
利用期間：個々の課題や目標に応じて、機能訓練は最長 1 年 6 か月、生活訓練は最長 2 年
お問合せ：京都市高次脳機能障害者支援センター
TEL075-823-1658 FAX075-842-1545

＼電動車椅子の安全な利用のために！／

第 1 回

電動車椅子の講習会のご案内



当センターでは、これから電動車椅子を利用したいと思っている方、ケアマネジャーなど電動車椅子を勧める立場にある支援者の方を対象に、京都府警察中京警察署や電動車いす安全普及協会のご協力の下、「電動車椅子の講習会」を開催します。すでに電動車椅子をご利用中の方も、この機会に交通ルールや基本操作を再確認してみませんか？皆様のご参加、お待ちしております！



【内 容】

講 習「交通ルールについて」

講 師：京都府警察中京警察署 交通課署員

講 習「電動車椅子の種類と基本操作について」

講 師：当センター職員

実 技「実際に乗ってみましょう」

様々な状況の模擬コースを体験できます。

【日 時】令和5年9月12日（火）午後1時30分～午後4時

【申込期間】令和5年8月10日（木）～9月11日（月）

【参 加 費】無 料

【定 員】各回15名（参加者が定員を超える場合は、京都市民及び
京都市内の事業所に勤務されている方が優先・先着順。）

【問合せ・申込先】地域リハビリテーション推進センター 相談課

電話：075-823-1666 FAX：075-842-1541



第2回も同じ内容で、令和5年11月7日（火）開催予定です！



電動車椅子の講習会

京都市地域リハビリテーション推進研修

10月～11月 開催講座の申込受付が9月1日から始まります！

この研修は支援者の方々を対象に、リハビリテーションに関連する知識や介護技術等の向上を目的として行っています。様々な分野の研修をご用意しています。ぜひ、ご活用ください！



詳しい研修の日程や内容は
ホームページからご覧いただけます →



ホームページ



10月～11月 申込フォーム

（9月1日から申込受付開始）

リハ会エール第31号（令和5年8月発行） 京都市印刷物 第054434号 京都市地域リハビリテーション推進センター
〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30番地 電話：075（823）1650（代表） Email：rehabili@city.kyoto.lg.jp

（お知らせ）

地域リハビリテーション推進センターは、令和6年1月（予定）に下記に移転します。移転後は、こころの健康増進センター及び児童福祉センターとの一体化施設として3施設が連携し、障害・児童福祉の専門機関として、相談・支援をさらに充実していきます。

移転先：京都市中京区壬生東高田町1番地の20（京都市立病院北側）